

第20巻 かぶせ打ち動画

出演協力 萩 史之氏 (帯広市)

ボールが沈んでいる場合、基本的にはかぶせ打ちになり、芝の状況等により2種類の打ち方となります。

かぶせ打ち A

- 1、ボールが沈んでいて比較的グリーンに近い場合
- 2、スタンスは、オープンスタンスでボール位置は右足前
- 3、グリップした手の位置は左ひざ側(ハンドファースト)になります。
- 4、コツは手首を使って金槌で釘を打つイメージです。
- 5、上からボールを叩いたらクラブを止めます。
- 6、体重配分は、左足60%、右足40%が良いでしょう。
- 7、基本はキャリー(上げ)3分に1、ラン(転がし)3分の2



動画ファイル(wmv 3M)



動画ファイル(wmv 1.3M)



動画ファイル(wmv 1.3M)

かぶせ打ち B

- 1、ボールが沈んでいて比較的グリーンが遠い場合、またそれ以外でのアプローチでもこの打ち方をします。
- 2、スタンスはオープンスタンスでボール位置は左足かかと延長線上
- 3、グリップした手の位置は左ひざ側(ハンドファースト)になります。
- 4、コツは手首を使って金槌で釘を打つイメージはAと同じですが、インパクトでクラブは止めないで、ストロークを進めます。叩く角度が小さいため、低くボールが出て距離の出る打ち方になります。
- 5、キャリー&ランの基本対比は5分の1 : 5分の4



動画ファイル(wmv 1M)



動画ファイル(wmv 1.8M)